

10th anniversary

2010 Tateshina
Kogen
Seminar

蓼科高原セミナー

会場

茅野市役所8階大ホール
マリオロイヤル会館(ベルビア3階)

7/31

8/28

9/4

主催／蓼科高原セミナー実行委員会 共催／茅野市・茅野市観光連盟・茅野商工会議所・社団法人会 茅野支部・縄文文化輝く会 後援／茅野市教育委員会・諏訪教育会・茅野TMO・信濃毎日新聞社・長野日報社・茅野市民新聞社・SBC信越放送・エルシーブイ(株)

お問い合わせ

蓼科高原セミナー事務局

TEL.0266-73-8550

FAX.0266-73-8322

〒391-0001 長野県茅野市ちの3506 モンエイトビル 茅野市観光連盟(内)

10th anniversary

2010 Tateshina
Kogen
Seminar

蓼科高原 セミナー

〈蓼科高原セミナー〉はおかげさまで10年目を迎えました。

蓼科高原にゆかりがあり、広く世界でご活躍されている講師の先生方をお迎えしております。

爽やかな高原の緑陰で、ゆったりとした時間のなか、魅力いっぱいのお話と一緒に耳を傾けましょう。

会場
ご案内図

GUIDE MAP

茅野市役所8階大ホール

A 駅から徒歩5分
0266-72-2101

マリオロイヤル会館(ベルビア3階)

B 駅直通路徒歩1分
0266-82-8222



開講式13:00~
7/31

信濃にまなぶ日本の心

童門 冬二 小説家

現在は戦国時代・幕末開国時代・IT時代の混合時代です。

日本人のひとりひとりが生きていくのにはグローカリズム(グローバルに・ナショナルに・ローカルに)が必要だといわれます。しかしなにより大切なのは、やさしさと思いやり(恕くじょ)と忍びざるの心)の精神です。この精神は美しい自然と愛にみちた教育によってはぐくまれます。信濃国はこの美しい自然と熱心な教育の国です。蓼科高原もその重要な地域です。以上を前提としながら、ほく自身が信濃からうけている日本の心についてお話しします。

昭和2年、東京に生まれる。かつて東京都庁に勤め、都立大学事務長、広報室課長、企画関係部長、知事秘書、広報室長、企画調整局長、政策室長などを歴任して退職、作家活動に入る。

歴史の中から現代に通ずるものを好んで書く。執筆活動のかたわら、講演活動も積極的にやっている。第43回芥川賞候補。日本文芸家協会、日本推理作家協会会員。平成11年 勲三等瑞宝章受賞。

【主な著書】「小説 上杉鷹山」「近江商人魂」「情の管理 知の管理」「渋沢栄一 人間の礎」「田沼意次と松平定信」「国僧 日蓮」「吉田松陰」「前田利家」「河井継之助」「直江兼統」「佐久間象山」



8/28

縄文文化と石

中沢 新一 思想家・人類学者

仏教や神道が成立する遥か以前から、日本列島には、謎めいた石の聖性が伝えられてきた。中でも関東平野から中部高地には、巨石の聖地や石積の古墳が多く、見事な球体をした丸石神や男根状の石棒を祀る、ユニークな「石の道祖神」の信仰も広がっている。

興味深いことに、金生遺跡などの縄文時代の祭祀場から、こうした道祖神と同じ遺物が数多く発見されたことにより、各地に祀られた「石の神」が、もともと縄文時代から伝わる伝統であった可能性も指摘されている。

縄文時代に起源を持つと思われるこうした「石」への信仰は、いかにして古代から現代に至る長い時間を超えてきたのだろうか。「石の道祖神」の背後に潜む思想を探ってみたい。

1950年山梨県生まれ。宗教から哲学まで、芸術から科学まで、あらゆる領域に示やかな思考を展開する思想家・人類学者。多摩美術大学芸術人類学研究所所長。著書に『チベットのモーツァルト』、『緑の資本論』、『アースダイバー』、『カイエ・ツバージュ(合冊版)』、『縄文聖地巡礼』(坂本龍一との共著)など多数。



9/4

華麗な共演者たち

司 葉子 女優

蓼科と云えば小津先生、野田先生、佐田啓二さんと懐かしいお名前を思い出します。

私が小津作品に初めて出演した「秋日和」は蓼科の別荘で執筆中とのこと、お二人の先生にお会いするため伺いました。原節子さんのお母さん、娘の私は夢のようで大変光栄に思いました。あこがれの佐田啓二さんとお見合いをして結婚と云うストーリーも女優だからこそで、いろいろなお相手と共演出来たことは私の自慢です。当日は華麗な共演者と題してDVDを上演したいと思っています。

1954年3月共立女子短期大学修了・4月大阪毎日放送局入社(秘書課)・7月東宝株式会社入社
映画「君死に給うことなかれ」でデビュー 以来150本に出演。代表作は「紀の川」「秋日和」「乱れ雲」他
「紀の川」では7つの主演女優賞受賞。「ブルーリボン賞」「キネマ旬報賞」「毎日映画コンクール賞」「日本映画記者会賞」など多数受賞。
舞台「華岡青州の妻」「紀の川」「和の宮様御留」「徳川の婦人たち」「一絃の琴」「午後の遺言状」他

1969年 大蔵省主計局長 相沢英之(元衆議院議員)と結婚

2003年 紫綬褒章 受賞